

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	教育行政システム論		
英文授業科目名	System of Educational Administration		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育の基礎理論に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	星野 敦子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hoshinoa@jumonji-u.ac.jp	http://www.jumonji-u.ac.jp/sscs/hoshinoa/index.html

【主題および達成目標】
<p>我が国の教育行政システムの仕組み、教育法規の現状とその運用の実態について、代表的な判例等を通して学ぶとともに、諸外国の教育制度についても概観する。</p> <p>(b) 達成目標： 1．我が国の教育行政制度の仕組みを理解する 2．教育基本法ならびに教育三法を中心とする教育関連法規とその運用について理解する 3．各国の教育制度、学校体系の特徴を理解する 4．我が国における代表的な教育判例について理解する</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特にありません。授業の際に、資料プリントを配布するとともに、事前にホームページにおいて授業ノートを開示します。

【授業内容とその進め方】

【授業内容】?@教育行政の定義 ?A憲法・教育基本法と教育行政 ?B教育制度と学校体系
?C教育行政組織（中央教育行政組織と地方教育行政組織）?D教育行政の運用（児童生徒・校長教員・教育
課程・その他） ?E代表的な教育判例

【授業の進め方】

- ・プレゼンテーションを利用して進めます。授業資料は授業の際に配布しますが、事前にホームページでも公開しています。
- ・毎回授業のポイントをまとめるための課題プリントを作成していただきます。プリントの提出により出欠を管理します。
- ・質問、ご意見等はプリント提出の際に欄外に記述してください。メールによる質問も受け付けます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法：出席点（課題プリントの提出）と試験の点数を合わせて評価点とする。
比重は試験70%、出席30%

評価基準：出席と試験を合わせた総合得点で評価。

90%以上：秀 80%以上：優 70%以上：良 60%以上：可 60%未満：不可

【オフィスアワー：授業相談】

メールにて対応します

【学生へのメッセージ】

教員採用試験（教職教養）に役立つ授業を目指します

【その他】